

読みきかせボランティアの育成に JPIC提供の動画を活用しませんか 「やってみよう読みきかせ」 の開催をのすすめ

読みきかせボランティアを毎年育成したいけれど、それに費やす時間やお金がない、そういう自治体は多いのではないのでしょうか？

JPICが提供する「やってみよう読みきかせ」は、そんなニーズにお応えできる講座です。

基礎は6本の動画で学び、その後全国各地にいるJPIC読書アドバイザーが実践指導をおこないます。



JPIC提供

「やってみよう読みきかせ」STEP1 開催の流れ

～まずは動画視聴で基礎を学ぶ～

自治体様

- ①JPICに「やってみよう読みきかせ」オンライン講座の申し込みをする
- ②講座参加者を募る

参加者様

- ③自治体様開催の講座に申し込む

自治体様

- ④希望のID数をJPICに伝える

※JPIC発行『この本読んで！』『著作権ハンドブック』等のテキスト（併せて1,000円ほど）が必要な場合も数を伝える

JPIC

- ⑤IDを発行し自治体様に送る。

- ⑥自治体内の施設で講座を開催

※ID1つにつき使用できるデバイスは1つのみです。したがって自治体様のデバイス1台を使って集団で受ける場合は1IDですみます。講座を自宅で視聴したい参加者には別途IDを発行する必要があります。

※IDには有効期限があります。

JPIC提供

「やってみよう読みきかせ」STEP2 開催の流れ

～実際に読みきかせを体験する～

自治体様

①オンライン「やってみよう読みきかせ」STEP1終了者を対象に実践講座参加者を募る

参加者様

②講座に申し込む

自治体様

③-1 自治体内の読みきかせボランティアさんに講師を独自に依頼

③-2 JPICに講師を依頼

JPIC

④③-2の場合自治体近くのJPIC読書アドバイザーを自治体様に派遣

⑤自治体様で開催するものとは別に全国で2会場実技講座を開催

参加者様

⑥自治体で活躍する読みきかせボランティアとして登録

希望者はJPICの読みきかせボランティアとしても登録

JPICオンライン講座 「やってみよう 読みきかせ」費用

◆ STEP1

オンラインを視聴して読みきかせの基礎を学びます。1つのデバイスにつき1つのURLを発行します。講座は全部で6コマです。

◆ STEP2

実際に絵本を読んでもらいます。講師は①自治体様が独自で講師を依頼（費用は自治体様負担）②JPICより講師を派遣（1名まで費用はJPIC負担）と選べます。

◆ 「やってみよう読みきかせ」STEP1 動画視聴

カリキュラム	6コマ
参加費	下記配布物テキストが必要な場合は教材費1名につき1,000円程度
配布物	テキストとして『この本読んで!』、『著作権ハンドブック』が提供可能
講座費用	ID発行料一部負担

◆ 「やってみよう読みきかせ」STEP2 実践

開催場所（いずれか選択）	①自治体様の施設で開催 ②JPICが開催する講座に個人で参加
講師（いずれか選択）	①自治体様独自に講師を擁立 ②JPIC読書アドバイザー1名を派遣
講座費用	JPIC読書アドバイザー派遣の場合1名まではJPICが費用を負担。2名になる場合は、講師の交通費を負担願います。

「やってみよう読みきかせ」STEP1 講座ラインナップ

STEP1のオンライン講座は全部で6コマです。最初は順にみていただく必要がありますが、その後は、みたい部分のみの視聴や、何度も繰り返して見るすることができます。IDには視聴期限があります。

1. 読みきかせとは (26分)
2. おはなし会の準備 (19分)
3. 赤ちゃんのおはなし会 (19分)
4. 未就学児への読みきかせ (26分)
5. 小学生を対象におはなし会を開く (29分)
6. おはなし会 こんなときどうする? (15分)



「やってみよう読みきかせ」STEP2 実践講座

「やってみよう読みきかせ」動画視聴だけでも、読みきかせの実践は可能ですが、より現場に近い状況を体験いただくためにも、実践講座の開催をおすすめします。

以下のいずれかの方法があります

①自治体様独自で開催

図書館司書さんを講師に開催などが考えられます。

②自治体様にJPICが講師を派遣

JPICの各種講座を学んだ講師を1名派遣します。

(2名以上の講師の場合は交通費の負担をお願いします)

③JPIC開催の実践講座に参加

自治体様で実践講座の開催をしない場合は、JPICが全国で2会場で開催する実践講座に参加ができます。

(交通費そのほかは参加者負担)

JPIC提供 「やってみよう読みきかせ」 一年の流れ

